

聖霊のみわざで世界を…

全世界のすべての民を救うことを望んでおられる愛なる神は、今日も神の力の込められたハンカチを通して豊かな聖霊のみわざを施しておられる。

イエス様の十字架の上の七つのことば(2)

イエス様が十字架につけられて言われた第三のことばを通して、神の子どもたちは主にあってまことの家族であることが悟れる。

私たちはキリストの香りなので～

主に似せられていく人は謙遜と仕え、愛の香りを放ち、世の光と塩になって多くの人を主の懐に導くことができる。

支教会3月スケジュール

「私も神の力の証人になりました！」

尿路結石のひどい痛みが一瞬にしてなくなった韓国のエン・トック牧師と「万民ニュース」を読んで人生の問題が解決されたケニアのサムエル兄弟の証し。

万民ニュース

第184号 2018. 2. 25.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

神の力の込められたハンカチを通した聖霊のみわざ

罪と悪が増大した終わりの時、人類の救いのためのイエス・キリストの十字架の愛を伝えるためには「あなたがたは、しるしと不思議を見ないかぎり、決して信じない。」(ヨハネ4:48)というみことばどおり、生ける神のみわざを現わして見せなければならない。

それで堂会長イ・ジェロク牧師は主のみことばどおり、しるしと不思議、神の力あるわざでみことばを確かなものとし、聖書が真実であることと創造主の神とイエス・キリストの福音を証して、全世界の数えきれないほどの魂を救いの道に導いている。

使徒の働き19章11～12節に「神はパウロの手によって驚くべき奇蹟を行われた。パウロの身に付けている手ぬぐいや前掛けをはずして病人に当てると、その病気は去り、悪霊は出て行った。」とある。

今日も堂会長イ・ジェロク牧師の祈りで神の力が込められたハンカチを通して全世界で聖霊のみわざを体験した人々が主を受け入れてまことのいのちを得る、驚くべき祝福を受けている。神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられる

ので、このハンカチを通して救いの恵みを施される。そのみわざは大きく驚くべきもので、韓国はもちろん全世界でハンカチ集会が開かれている。それだけでなく、イ・ジェロク牧師が行う神の力が大きくなるほどそのいやしのスピードが速くなり、みわざがさらに大いに現れている。

終わりの時を生きている76億の魂を主の懐に導くまで、2018年にも万民教会は民族福音化と世界宣教の使命を果たすための信仰の行軍を決してやめないだろう。

「難病にかかって下半身が麻痺した私が車椅子から立ち上がって歩いています！」

マック・ジョセフ・デルフィン聖徒
(25歳、フィリピン・カビテ万民教会)

少し前まで熱心なカトリック信者だった私たちの家庭がクリスチャンホームになりました。喜びでいっぱいの今のこの驚くべき変化は予想できない出来事から始まりました。

2017年9月、私は頭痛と高熱で苦しんでいました。大

学病院で診察を受けた結果、難病の「ギラン・バレー症候群」(神経系疾患)で、特別な治療法や処方がなく、ビタミンだけ投与すると言われました。ついに全身が麻痺し始め、顔と食道も麻痺して、鼻にチューブを入れて食物を摂取しなければならませんでした。

一か月間入院して良くなりましたが、相変わらず下半身は麻痺して全く動けませんでした。心身とも消耗して絶望的でした。結局、病院で今はこれ以上進展がないから退院しなさいと言われて、10月26日、病院の近所の祖母の家に移りました。

二日後、祖母の家に、ある人々が訪ねて来て「神様の力では十分にいやされることができます。私たちの教会は堂会長イ・ジェロク牧師先生の祈りを通して不思議とし、神様の力あるわざが無数に現れています」と伝えました。イ・ヒソン牧師先生を講師に「神の力の込められたハンカチ集会」が開かれる予定だが、数多くのいやしと答えのみわざが現れるだろうとも言いました。この話を聞いた私は家族に助けられて車椅子に乗ってカビテ万民教会に行くことになりました。

いよいよ12月3日、ハンカチ集会の時、イ・ヒソン牧師先生が堂会長先生に祈りを受けて神の力が込められたハンカチ(使徒19:11～12)で私のために祈ってくださいました。この時、聖霊の火が臨んで、全身から

一瞬のうちに汗が流れると、脚に力が与えられました。

私は車椅子から立ち上がって、助けてもらいながら歩けるようになったのです。これも驚くことですが、家に帰って来てからは歩行器を使って歩いたし、二日後にはひとりでも歩けたのです。ハレルヤ！

さらに、一生下半身麻痺で過ごさなければならなかった私が祈りを受けたあと健康になると、家族全員が改宗して主を受け入れました。このように私をいやして、家族全員をまことのいのちの道へと導いてくださった生ける神様と私たちの主イエス・キリストにすべての感謝と栄光をささげます。



ヒンズー教徒、仏教徒も「キリスト教に改宗しました！」

ヒンズー教徒だったインドのタラ・シン(28歳)聖徒は血液のがんを病んでいた。全身に力がなく、痛みとともにひどいかゆみでいつも苦しみの中を生きていた。ところが、デリー万民教会に伝道されて、ハンカチの祈りを受けた後、検査を受けるために病院に行ったが、医師からがん細胞がなくなったという話を聞いた。

彼女は「生きておられるまことの神様を見つけてとても幸せです。今はクリスチャンとして新しく生まれて、周りの人たちに私をいやして新しく変えさせてくださった主を伝えています」と言って神に栄光を帰した。

仏教徒だったタイのクンナン・チャイクウ(38歳)聖徒はチェンナイ万民教会でハンカチ集会が開かれるという噂を聞いて、好奇心で参加したが、主を受け入れるようになった。彼女は「神の力の込められたハンカチの祈りを受けて、たくさんの人がいやされて証しする様子

を見ました。今まで私が信じていた神は、いくら心を込めて仕えても、どんな体験もできなかったのですが、キリスト教の神様は本当に生きておられました。信じるしかない証拠があるので、当然キリスト教に改宗しました」と告白する。息子もこのハンカチで皮膚病がいやされて、幸せな心で信仰生活をしていると証しする。



イエス様の十字架上の七つのことば(2)



堂会長イ・ジェロク牧師

「イエスは、…母に『女の方。そこに、あなたの息子がいます』と言われた。それからその弟子に『そこに、あなたの母がいます』と言われた。…」
(ヨハネの福音書19:26～27)

人々は一生を生きて最後に残した遺言を非常に大切に思う。いくら親不孝で放蕩に生きていた子どもも、親の遺言には何としてでも従おうとする。

それでは、イエス様が木の十字架にかけられて死なれる前、最後の力を尽くして残されたみことばは何だろうか。今回は十字架上の七つのことばのうち、第三のことばについて伝える。

1. 「女の方。そこに、あなたの息子がいます」

<ヨハネ19:26>に「イエスは、母と、そばに立っている愛する弟子とを見て、母に『女の方。そこに、あなたの息

子がいます』と言われた。」とある。ここで「息子」とは、そばに立っている愛する弟子ヨハネを指すのであって、イエス様はおとめマリヤにヨハネを息子のように思いなさいと言われている。

それでは、イエス様がおとめマリヤに「女の方。そこに、あなたの息子がいます」と言われた理由は何だろうか。聖書には、イエス様がおとめマリヤを「母」と呼ばれた記述が全くない。「母」という表現はヨハネの福音書を記した弟子ヨハネの立場で使ったのであって、イエス様の立場で言われたのではない。

ヨハネの福音書2章にはイエス様が水でぶどう酒をお作りになった出来事が記されている。この時もイエス様はおとめマリヤを「女の方」と呼ばれた。イエス様は神の御姿であって(ピリピ2:6)、御子の神であるのに、どうして母がありえるだろうか。

神は永遠の昔からとこしえまで「わたしは、『わたしはある』という方(出エジプト3:14)、誰かが神を産んだり作り出したりできない。したがって、神の御姿であるイエス様が被造物であるおとめマリヤを「母」と呼ぶことができないのだ。

しかもおとめマリヤは遺伝的にもイエス様の母になれない。イエス様は聖霊によって宿られた方だからだ。もしある女性の体を借りて人工受精によって生まれた赤ちゃんがいるなら、その女性をお母さんと呼ばない。また、未熟児がしばらく保育器の中で育ったからといって、保育器をお母さんとは呼ばないだろう。このように、イエス様がおとめマリヤの体を借りてこの地上に来られたからといって、母と呼ぶことはできないのだ。

それでもおとめマリヤをイエス様の母として仕え、偶像のように拝むなら、神が決して喜ばれない。<出エジプト20:3～4>に「あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があってはならない。あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。…どんな形をも造ってはならない。」とあるとおり、神のほかにどんな被造物の形でも造って拝むことがあってはならない。

また、イエス様が「女の方。そこに、あなたの息子がいます」と言われたのは、おとめマリヤを慰めるためである。細やかなイエス様は十字架につけられているご自分を見て、まるで刃物で心を刺されるような苦しみを感じているマリヤを覚えて、最後の瞬間まで慰められ、弟子ヨハネを実の息子のように頼るようになされたのだ。

2. 「そこに、あなたの母がいます」

<ヨハネ19:27>を読めば「それからその弟子に『そこに、あなたの母がいます』と言われた。その時から、この弟子は彼女を自分の家に引き取った。」とある。それでヨハネはイエス様のおことばどおりおとめマリヤを自分の家に迎えて、実の母のように仕えて生きるようになる。マリヤは処女としてイエス様を産んだ後、夫ヨセフとの間に幾人かの子どもを産んだ。しかし、イエス様はマリヤの子どもたちに頼まないで、弟子ヨハネに頼まれた。

ここで私たちが確かに悟るべきことは何だろうか。<ピリピ3:20>に「けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。」とあるとおり、救われた神の子どもたちは天に属する人であるということなのだ。主を受け入れて、天国のいのちの書に名が記された神の子どもたちは、神を父として仕える霊的な家族である。

私たちは肉の両親を通してこの地上に生まれたが、両親の精子と卵子も神が下さったのであって、遡れば人類の先祖であるアダムのいのちも神から来た。神がアダムを形造っていのちの息を吹き込まれたので、根本的に私たちがいのちは神から来たのだ。また、人が結婚して子どもを産むとしても、神の許しがなければいのちをみごもることもできず、胎に宿った赤ちゃんに霊を下さるのも神の所管だからだ。

今日、科学が発達して、クローン人間に関する論議が多いが、いくら遺伝工学が発達しても、人の霊を作り出すことはできない。たとえ人の肉は複製できるとしても、神と交わる霊がないか

ら動物と変わらず、まことの人と言えないだろう。しかもみごもった赤ちゃんの性別や性分、容貌なども親の願いどおりにすることができない。

このように、ただ神だけが人のいのちをつかさどることがおできになるのである。人に霊を下さって生死禍福をつかさどられる方も神であり、このような神が私たちの霊的な父であられる。もし神を信じないで世の情欲に従って生きていくなら、これは悪魔の子どもであるから、神を「父」と呼ぶことができない(ヨハネ8:44)

だから、この地上で互いに血縁関係で結ばれた家族だとしても、主を信じない家族は天国で永遠にともにいられるのではない。イエス様も「天におられるわたしの父のみこころを行う者はだれでも、わたしの兄弟、姉妹、また母なのです。」と言われ、まことの家族、霊的な家族について教えてください(マタイ12:50)。

肉の家族を愛して仕えるが、神の御前にふさわしい霊の愛で愛さなければならぬ。もし神をそしって神のみこころと反するようなことをする家族に合わせるなら、それはまことの愛ではないからだ。

たとえば、肉の親や兄弟が「教会に行くな」「罪と一緒に犯そう」と言うが、それに合わせるならば、これは愛でもなく、むしろ一緒に死へ向かうことである。だから、必ず真理にあって愛して仕えなければならぬ。また、本当に家族を愛するなら、何より一緒に救われて天国に行けるように伝道しなければならぬだろう。それで、永遠の天国でともに生きる、まことの霊的な家族になるべきだろう。

愛する聖徒の皆さん、

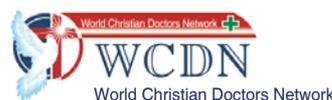
十字架上の七つのことばの第三のことばには、十字架につけられたイエス様を見て悲しんでいるマリヤの心を慰めようとするイエス様の愛が込められている。また、主にあつての兄弟姉妹がまことの家族だということを知らせてくださったので、さらに神を愛し、主にあつて霊の愛を分かち合われるように、主の御名によって祈る。



Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcnetv.org
e-mail: webmaster@gcnetv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ピン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

キリストの香りを放つ 生き方

〈第二コリント2:15〉に「私たちは、救われる人々の中でも、滅びる人々の中でも、神の前にかぐわしいキリストのかおりなのです。」とある。このように、クリスチャンならば、キリストの香りを放つ生き方を通して世の光と塩になって多くの人を主の懐に導かなければならないだろう。はたしてキリストの香りを放つ人からはどんな香りがするだろうか。

キリストの香りは「謙遜と仕えの香り」

〈マタイ20:28〉で、イエス様が「人の子が来たのが、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためであるのと同じです。』とされたとおりに、人々がイエス様から感じたものは謙遜と仕えだった。

イエス様は「わたしが父におり、父がわたしにおられるとわたしが言うのを信じなさい。さもなければ、わざによって信じなさい。」(ヨハネ14:11)と言われたとおりに、しるしと不思議を行いながら、ご自分が神の御子で、救い主だということを人々が信じられるように、驚くべき力を現わされた。

それでもご自分を高くするのではなく、かえってへりくだって仕えられた。あまりにも多くの人々がイエス様の前に出て来るので、時には召し上がることもお休みになることもできなかったが、すべての人に心から接して下さった。

た。このような謙遜と仕えの香りは人々の心を動かし、変えさせた。クリスチャンからも、自分を低くして仕えることで謙遜と仕えの香りがしなければならぬ。



いやいやながらでもなく、身につけた教養からでなく、心から謙遜と仕えの香りが自然ににじみ出て来るとき、相手の心を開くことができ、信頼を得ることができて、伝える福音もしっかり心に蒔かれる。

たとえば、目上の人の前ではへりくだって挨拶するが、後ろでは悪口を言うとか、自分が目上の人だからといって挨拶を受けるばかりで、知っている素振りも見せないし、目を向けることもないなら、謙遜や仕えからはほど遠い。

また、自分が間違っている、叱られれば気を悪くしてすねて、自分のためのアドバイスや指摘も素直に聞けないならば、高められて

仕えられたい心があるということを悟らなければならぬ。このような心があるから、自分の欠けているところが現れるので、指摘や叱責を聞きたくないのだ。

もし相手が全く理解できないことを言うなら、多くの方は自分の立場で相手の話が正しい、間違っているとさばいて口に出す。しかし、それは間違っていることが多く、自分の心を低くしないで相手より高くしたので、癪に障ってけんかになったりもする。

自分の心を低くして相手の心を理解しようとするとき、ぶつかることがない。このためには相手の話到最后まで耳を傾けることが非常に大切だ。すると、相手がそう言うしかない心が理解できて、愛されたくて認められたい心、もっとよくやりたい心など、相手の心が感じられるので、相手に合わせて答えられる。このように自分を低くして仕える心から放たれるキリストの香りは必ず相手を感動させる。

キリストの香りは「愛の香り」

弟子ペテロは三度もイエス様を知らないと言ったが、イエス様は彼に顔を背けられなかった。かえって彼の弱さを理解してお赦しになり、再び彼を励まされた。パウロは以前教会を荒らし、主を信じる聖徒たちを捕らえて殺しに回っていたが、主は彼にご自身で出会って下さってお赦しになったし、使徒として下さった。このような主の愛が使徒ペテロと使徒パウロになるよう変えさせたのだ。

同じように、私たちの心も主の愛で溶かされた。主を知ること信じることができなかった私たちのために、主は全身をむちで打たれ、頭にいばらの冠をかぶられ、十字架で手と足に釘を打たれ、血を注ぎ出して死なれた。その十字架の愛を悟ったので、多くの涙を流して感謝した。このように私たちのために完全に犠牲になって下さった主の愛が私たちに現れるとき、キリストの香りを放つことができる。

何の代価も望まず、与えてはまた与える

が、惜しみなく与えられる愛、自分の罪と咎を主が赦されたように、自分に害を加える人を赦す愛の香りを放つなら、相手の心も感動して変えられる。霊の愛は氷のように冷たい心も溶かせるし、ガチガチに固まった心も解きほぐせる。

このような愛の香りは結局自分も相手から愛されるようにする。ひょっとして「私はなぜ愛されないのだろうか。私が持っている肉体的な条件が良くないからか」と考えるなら、肉の愛はつかの間だけ、長く続かないということを知らなければならない。なぜなら、うわべの肉体的な条件が変わったりより良い人を見たりすれば、すぐ心が変わることがあるからだ。



私たちが変わらないまことの愛を得るには、人の中身である霊が美しく変えられ、そのたましいに幸いを得ていなければならない。悪がない善の心、肉がない御霊に属する心になってキリストの香りを放つならば、そ

の人は必ず愛されるようになる。これがまことの愛である。

御霊に属する心から出て来る愛の香りは誰にでも感動を与えられる。やわらかくて、温かくて、真実を感じるの、そのような香りを放つ人に自然に心が開かれるようになる。自分も心から湧き出る愛を与えるようになる。

このように美しく変えられているので、その人のすべてを大切にしていけるのがまことの愛だ。父なる神も私たちのうわべでなく心をご覧になって、私たちのすべてを愛して下さる(第一サムエル16:7)。私たちが心から父なる神を信じて愛さなければならない。

〈箴言8:17〉に「わたしを愛する者を、わたしは愛する。わたしを熱心に捜す者は、わたしを見つける。」とあり、神を愛するがゆえに戒めを守り行えば、たましいに幸いを得ているようにすべての点で幸いを得、健康である祝福をいただき、神に愛され、神を見つける豊かな生き方ができるのだ。

3月支教会スケジュール

3月18日(日)	松本万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:伊藤 正明牧師)	3月25日(日)	名古屋万民教会	癒し集会(講師:時國みや子牧師)
3月18日(日)	舞鶴万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:キム・マルコ牧師)	3月28日(水)	飯田万民教会	権能のいやし聖会(講師:柳スズギ牧師)
3月18日(日)	大阪万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:キム・モニカ牧師)	3月27日(火)~29日(木)	飯田万民教会	ユースキャンプ(講師:柳スズギ牧師)

「目が合った瞬間、 尿路結石のひどい 痛みがなくなりました！」

ユン・トゥク執事(38歳、2大大12教区)

2017年12月23日(土)昼の12時頃、サッカーをしに運動場に行きました。とても寒い天気、しばらくストレッチングをしてサッカーを始めて10分にもならないうちに、左のふくらはぎから「ブチッ」という音とともに痛みを感じました。ふくらはぎには青黒いあざができて、痛みも深刻でした。30分ほど座っていたあと、けがをした足を地面につけられなくて、右足でケンケンして車に乗りました。ところが、携帯で堂会長イ・ジェロク牧師先生の自動応答サービスのいやしの祈りを三、四回受けると、不思議なことに痛みがすっかりなくなりました。

このような体験を堂会長先生に証ししなければと思っていましたが、ちょうど24日(主日)、私が所属している1-2男性宣教会が堂会長先生にお目にかかる機会が来ました。夕方7時30分頃から先生のお話を聞いて、背中がうずくようだったのですが、たいしたことないと思っていました。その時間が終わって先

生に「昨日、先生のいやしの祈りでふくらはぎの肉離れがいやされて、痛みもなくちゃんと歩いて階段も普通に上がれます。ありがとうございます」と申しあげました。

その後、家族と一緒に家に帰るために駐車場のほうに歩いて行く途中、さつきずきずきしていた背中が再び痛み始めると、内臓までそがれるように痛くなって、歩くことさえ大変になりました。教会に戻って、WCDN(世界キリスト教医師ネットワーク)の事務室で超音波を撮ってもらいましたが、尿路結石でした。体を支えていられないほどひどい痛みをこらえて、堂会長先生に祈りを受けるために、何も考えずに先生がおられる所に行きました。



この時、私は意識が薄れていくような苦しみの中で、短い時間がとても長く感じられました。何人かの聖徒さんがおられました、苦しみに耐えられなくてもがきました。しばらくして先生に祈りを受けるために堂会長室に向かって歩いて行ったのですが、すでに私の話を聞かれた先生はドアを開けて立っておられました。

先生と目が合った瞬間、私の目から熱い悔い改めの涙が流れて、痛いことは考えもしませんでした。23年間教会に出席しましたが、先生の姿があまりにも小



さく見えたからです。まるで子どもたちを育てるために自分のすべてをみな渡した父の姿のように私の心に迫ってきました。聖徒のために涙の祈りと愛で見せてこられた忍耐の歳月が楽ではない過程だったことと、私のための愛であったということが悟れたのです。

先生はひざまずいている私のほうに身をかがめて、右側の背中、わき腹に手を当てて祈ってくださいました。すでに痛みが跡形もなくなった私はその場で軽く立てたのです。先生になまぬるい自分の信仰を悔い改めて、また熱い信仰生活をしますと告白しました。

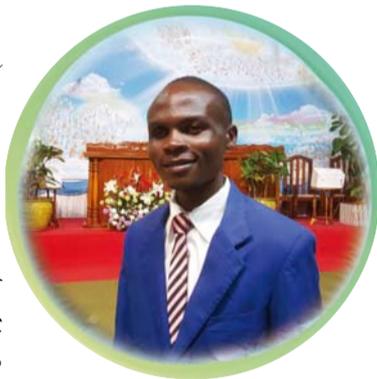
あっという間に尿路結石の痛みがなくなる体験をして、新しく生まれるように導いてくださった愛の父なる神様にすべての感謝と栄光をお帰しし、祈ってくださった堂会長先生にも深い感謝を申し上げます。

「眼球腫瘍がいやされ 視力が上がってメガネもはずし 就職の祝福もいただきました！」

サムエル・オモンディ・アマタ兄弟
(29歳、ケニア・ナイロビ万民教会)

私は学校時代、両目のために人知れない苦しみを体験しました。白内障のため高校の時、左目の手術を受けましたが、その後右目にまで異常があつて苦しみました。右目がとても敏感になって、わずかな風でも感じられると痛みが伴って、視力もますます下がりました。このために3か月間、学校にも行けなかったのです。左目の視力まで下がり、メガネをかけなければならませんでした。後でわかったことですが、眼球腫瘍で手術しなければ失明することもあったのです。

2013年1月初め、偶然に「万民ニュース」を読みました。いどころが通っていた教会の新聞だったので、文を読むのが好きだった私は新聞を細かく読みました。当時目を病んでいたもので、何よりいやされた証しに恵みをとんでも受けました。私も神様にいやされ



たいと思って、いどころについて行って教会に足を踏み入れたのがきっかけで、1月6日、ケニア・ナイロビ万民教会の聖徒になりました。

教会では、担任チョン・ミョンホ牧師先生が堂会長イ・ジェロク牧師先生に祈りを受けたハンカチで祈る「ハンカチ集会」(使徒19:11~12)があるとお知らせがありました。私は慕う心で祈りながらそれまでの間違った行いを振り返って悔い改め、心を尽くして準備しました。



いよいよ1月20日、ハンカチ集会の時、チョン・ミョンホ先生のハンカチの祈りを受けたとき、右目から左目に痛みが抜けて行きながら、体が後ろに倒れそうな感じがしました。その後、驚くべきことが起きました。メガネをはずしたら人と物がとてもはっきり見えるのです。それだけでなく、苦しんでいた目のすべての

9月には公務員になりたいと、政府機関に履歴書を出して面接試験を受けた後、チョン・ミョンホ先生からハンカチの祈りを受けました。すると政府機関の製薬開発研究員として6か月間、契約職として勤務できたのです。

その後は正職員になるために「二回連続特別ダニエル祈禱会」に参加して切に祈りました。公務員を縮小するというので現実にはさらに難しかったのですが、神様は私の祈りに答えてくださいました。ついに2017年3月、正式に公務員になった私は給与が引き上げられる祝福もいただきました。

この世の誰も私を病気の苦しみに解放してくれなかったのに、神様はすべての人生の問題を解決してくださいました。牧者の空間の中で祝福してくださった三位一体の神様にすべての感謝と栄光をお帰しします。

症状が全部なくなったのです。ハレルヤ！

このように神様を熱く見つけた私はその恵みにとでも感謝して、一生懸命信仰生活をしました。2015年

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市北区中百舌島町5-775-15
T) 098-914-3027 FAX兼用
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206
T) 0866-57-9691

・イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472